生産能力を縮小する場合を考える

人を解雇したら販売は増えるか?

増えません

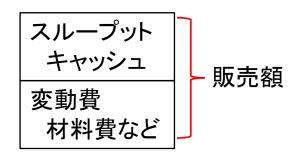
在庫は減るか?

人減らしでは、経費削減だけできる

3つの指標のうち1つしか改善できない 目標は、スループットを増やしながら同時に作業経費と在庫を減らすこと

黒字:アレックス(ユニコ社の工場長)

緑、青字:ジョナ(物理学者、アレックスの恩師)



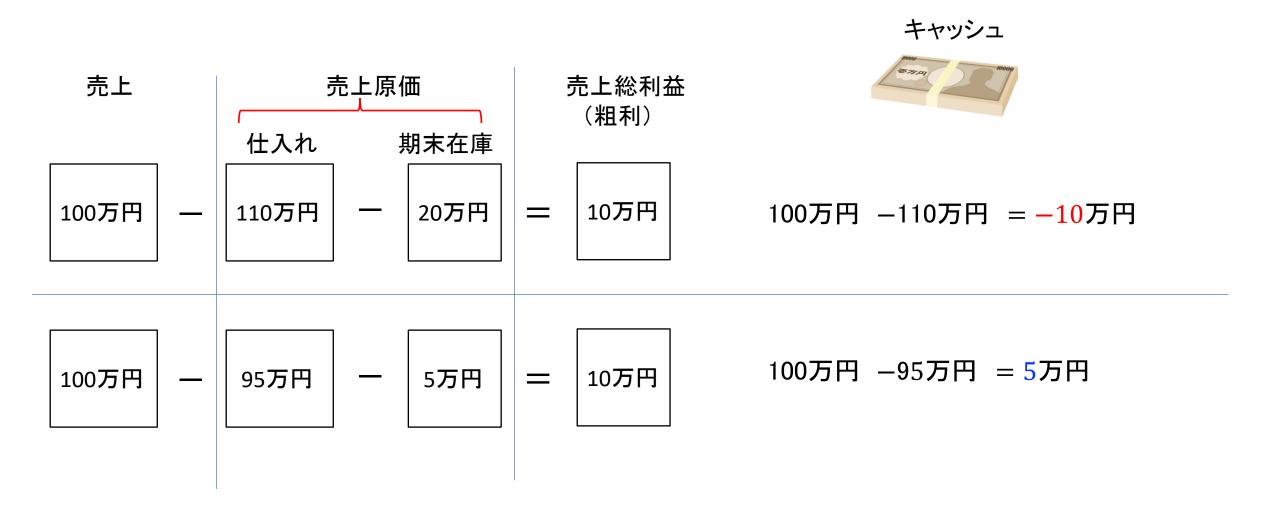
従属事象: 一つの事象あるいは一連の事業が起こるためには、その前に別の事象が起こらなければならない統計的変動:

システムの最終工程のリソースには、一番初めのリソースより大きな能力が必要

リソースを「ボトルネック」と「非ボトルネック」に分けなければいけない

「生産能力」を需要に合わせてはいけない。工場内の製品フローを需要に合わせること 特にボトルネックのフローを需要に合わせる

期末在庫が多いと、キャッシュが不足したり、売上総利益が増すため法人税が増加



- ①Y(非ボトルネック工程)→X(ボトルネック工程)
- ② X (ボトルネック工程) → Y(非ボトルネック工程)
- $\begin{array}{c} \text{(3) } X \rightarrow \\ Y \rightarrow \end{array}$ ASSEMBLY

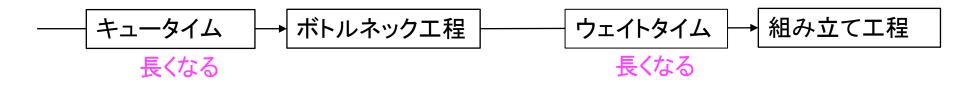
ASSEMBLY

 $(4)Y \rightarrow PRODUCT A$ $X \rightarrow PRODUCT B$

ボトルネックが資材を必要とするペースに合わせて、タイミングよく部品を投入する

資材が工場に入ったときから完成品の一部として工場から出ていくまでの時間

セットアップ(段取り) プロセスタイム(処理時間)



バッチサイズを半分にすると、キュータイム・ウェイトタイムも半分になる